JASDAQ

平成21年３月期　第３四半期財務・業績の概況（非連結）

平成21年１月20日

上場会社名	株式会社　植松商会	上場取引所	ＪＱ
コード番号	９９１４	ＵＲＬ	http://www.uem-net.co.jp
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）植松　誠一郎	
問合せ先責任者	（役職名）取締役管理本部長	（氏名）神　郁　夫	ＴＥＬ　（０２２）２３２－５１７１

（百万円未満切捨て）

１．平成21年３月期第３四半期の業績（平成20年３月21日　～　平成20年12月20日）

(1) 経営成績　　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年３月期第３四半期	5,120	△8.8	14	△88.2	69	△64.3	△16	－
20年３月期第３四半期	5,618	△9.8	124	△25.5	195	△16.4	118	△5.2
20年３月期	7,647	－	190	－	286	－	153	－

	１株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
21年３月期第３四半期	△3	59	－	
20年３月期第３四半期	25	50	－	
20年３月期	33	07	－	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
21年３月期第３四半期	4,303	2,675	62.2	577	27
20年３月期第３四半期	4,454	2,778	62.4	599	48
20年３月期	4,658	2,791	59.9	602	25

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年３月期第３四半期	174	△184	△60	394
20年３月期第３四半期	△250	△21	△60	353
20年３月期	△132	△25	△61	465

２．配当の状況

	１株当たり配当金		
（基準日）	中間期末	期末	年間
	円　銭	円　銭	円　銭
20年３月期	0　00	12　50	12　50
21年３月期（予想）	―	12　50	12　50

３．平成21年３月期の業績予想（平成20年３月21日　～　平成21年３月20日）　【参考】

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円　銭
通期	7,000	△8.5	40	△78.9	120	△58.0	10	△93.5	2　16

４．その他

（1）会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　　：　有

（2）最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無　　：　有

（注）詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】４．その他をご覧ください。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

１．経営成績に関する定性的情報

当第３四半期におけるわが国経済は、米国発の金融危機に端を発した世界的な金融・資本市場の混乱を背景に、実体経済に深刻な影響を与えております。特に、昨年９月のリーマン・ショック以降、国内外の需要の冷え込みが顕著で、急速に景気の後退感は強まってまいりました。

当機械工具業界におきましても、主需要先である自動車関連産業やＩＴ関連産業等を中心として生産調整が拡大しており、受注の減少傾向が顕著となりました。

このような経営環境の中におきまして当社は、技術部を中心に全社的な新規ユーザーの発掘や顧客ニーズを捉えた新たなビジネスモデルの構築など、営業基盤の強化・拡充に努めてまいりました。

しかしながら、ユーザーにおける生産調整や設備投資抑制の影響が大きく、当第３四半期の業績は、売上高5,120百万円（前年同期比8.8%減）となりました、また経常利益につきましては、売上高減少等による利益の縮小から69百万円（前年同期比64.3%減）となり、四半期純利益では、昨年７月18日付け発表の会計基準変更による特別損失（役員退職慰労引当金の過年度分引当額71百万円）計上と株式市場の時価下落に伴う投資有価証券評価損計上もあり、16百万円の四半期純損失となりました。

２．財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ354百万円減少し、4,303百万円となりました。その主な要因は、売上高の減少に伴い売上債権が475百万円減少いたしました。

負債は、前事業年度末に比べ238百万円減少し、1,628百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少243百万円によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ116百万円減少し、2,675百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少74百万円とその他有価証券評価差額金の減少41百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べ2.3%上昇し、62.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第３四半期における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ71百万円減少し、394百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は174百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少額247百万円と法人税等の支払額106百万円が支出となりましたが、一方で売上債権の減少額475百万円が取得の要因となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は184百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の取得139百万円と固定資産の取得65百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は60百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額57百万円によるものであります。

３．業績予想に関する定性的情報

平成21年３月期の通期業績予想につきましては、平成20年11月６日付「平成21年３月期　中間決算短信（非連結）」にて公表いたしました業績予想数値に変更はございません。

４．その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

財務諸表等の作成に際しては、中間財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な方法を採用しております。

・たな卸資産について、実地たな卸を省略しております。

・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な手続きによっております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

（役員退職慰労引当金）

役員の退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱」（監査・保証実務委員会報告第42号　平成19年４月13日）の改正に伴い、役員退職慰労金の支出に備えるため、内規による期末要支給額に基づき役員退職慰労引当金を計上する方法に変更しております。

この変更に伴い、過年度相当額71百万円は特別損失に、当第３四半期にかかわる発生額３百万円は販売費及び一般管理費に計上しております。

この結果、従来と同一の基準を採用した場合と比較して、営業利益及び経常利益は３百万円、税引前四半期純損失は75百万円それぞれ少なく計上されております。

５．（要約）四半期財務諸表

(1)（要約）四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 （平成20年３月期 第３四半期末）	当四半期末 （平成21年３月期 第３四半期末）	増減		（参考）前期末 （平成20年３月期末）
	金額（千円）	金額（千円）	金額 （千円）	増減率 （％）	金額（千円）
（資産の部）					
Ⅰ　流動資産					
1．現金及び預金	378,462	395,479	17,017	4.5	491,065
2．受取手形	667,870	812,294	144,424	21.6	640,447
3．売掛金	1,779,501	1,566,705	△212,795	△12.0	2,213,800
4．商品	482,348	245,102	△237,246	△49.2	202,077
5．その他	73,655	52,742	△20,912	△28.4	63,108
6．貸倒引当金	△2,080	△1,860	220	△10.6	△2,110
流動資産合計	3,379,757	3,070,464	△309,292	△9.2	3,608,388
Ⅱ　固定資産					
(1) 有形固定資産					
1．建物	142,291	157,648	15,356	10.8	140,296
2．土地	229,357	269,006	39,649	17.3	229,357
3．その他	8,028	7,750	△278	△3.5	7,664
有形固定資産合計	379,676	434,404	54,727	14.4	377,318
(2) 無形固定資産	21,256	17,045	△4,210	△19.8	20,204
(3) 投資その他の資産					
1．投資有価証券	572,438	597,684	25,245	4.4	536,783
2．その他	107,363	189,186	81,822	76.2	120,488
3．貸倒引当金	△6,070	△5,155	915	△15.1	△5,155
投資その他の資産合計	673,731	781,715	107,984	16.0	652,116
固定資産合計	1,074,664	1,233,166	158,501	14.7	1,049,639
資産合計	4,454,422	4,303,630	△150,791	△3.4	4,658,028

科目	前年同四半期末 （平成20年３月期 第３四半期末）	当四半期末 （平成21年３月期 第３四半期末）	増減		（参考）前期末 （平成20年３月期末）
	金額（千円）	金額（千円）	金額 （千円）	増減率 （％）	金額（千円）
（負債の部）					
Ⅰ　流動負債					
1．支払手形	761,207	663,145	△98,061	△12.9	673,559
2．買掛金	725,174	673,039	△52,135	△7.2	906,449
3．その他	110,415	130,566	20,151	18.3	203,408
流動負債合計	1,596,797	1,466,752	△130,045	△8.1	1,783,417
Ⅱ　固定負債					
1．退職給付引当金	63,115	75,873	12,758	20.2	68,535
2．役員退職慰労引当金	－	75,003	75,003	－	－
3．その他	15,707	10,612	△5,094	△32.4	14,433
固定負債合計	78,822	161,490	82,667	104.9	82,969
負債合計	1,675,620	1,628,242	△47,377	△2.8	1,866,386
（純資産の部）					
Ⅰ　株主資本					
1．資本金	1,017,550	1,017,550	－	－	1,017,550
2．資本剰余金	1,174,635	1,174,661	26	0.0	1,174,635
3．利益剰余金	572,723	533,229	△39,493	△6.9	607,807
4．自己株式	△6,878	△6,755	123	△1.8	△6,878
株主資本合計	2,758,030	2,718,685	△39,344	△1.4	2,793,114
Ⅱ　評価・換算差額等					
1．その他有価証券評価差額金	20,771	△43,297	△64,069	－	△1,473
評価・換算差額等合計	20,771	△43,297	△64,069	－	△1,473
純資産合計	2,778,801	2,675,388	△103,413	△3.7	2,791,641
負債、純資産合計	4,454,422	4,303,630	△150,791	△3.4	4,658,028

(2) （要約）四半期損益計算書

科目	前年同四半期（平成20年３月期第３四半期）	当四半期（平成21年３月期第３四半期）	増減		（参考）前期（平成20年３月期）
	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	増減率（%）	金額（千円）
Ⅰ　売上高	5,618,037	5,120,858	△497,179	△8.8	7,647,418
Ⅱ　売上原価	4,828,191	4,397,732	△430,459	△8.9	6,568,899
売上総利益	789,845	723,126	△66,719	△8.4	1,078,519
Ⅲ　販売費及び一般管理費	665,579	708,477	42,897	6.4	887,662
営業利益	124,266	14,648	△109,617	△88.2	190,857
Ⅳ　営業外収益	72,907	57,278	△15,628	△21.4	96,483
Ⅴ　営業外費用	1,587	2,093	505	31.9	1,326
経常利益	195,586	69,834	△125,751	△64.3	286,014
Ⅵ　特別利益	5,320	250	△5,070	△95.3	3,300
Ⅶ　特別損失	1,177	81,295	80,117	－	2,222
税引前四半期（当期）純利益又は税引前四半期純損失（△）	199,729	△11,210	△210,939	－	287,092
法人税等	73,634	28,158	△45,476	△61.8	136,735
法人税等調整額	7,860	△22,732	△30,593	－	△2,961
四半期（当期）純利益又は四半期純損失（△）	118,234	△16,635	△134,869	－	153,318

(3)（要約）四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	前年同四半期（平成20年３月期第３四半期）	当四半期（平成21年３月期第３四半期）	（参考）前期（平成20年３月期）
	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期（当期）純利益又は四半期純損失（△）	199,729	△11,210	287,092
減価償却費	11,451	11,927	15,467
賞与引当金の減少額	△19,600	△18,200	△1,800
役員賞与引当金の減少額	△10,250	△3,250	△7,000
退職給付引当金の増加額	2,253	7,338	7,673
役員退職慰労引当金の増加額	－	75,003	－
貸倒引当金の増減（△）額	305	△250	△580
受取利息及び受取配当金	△16,512	△9,351	△24,318
売上債権の増（△）減額	△4,688	475,247	△411,565
たな卸資産の増（△）減額	△234,886	△43,024	45,384
仕入債務の増減（△）額	△27,696	△247,356	88,845
その他	△440	29,928	12,591
小計	△100,334	266,801	11,791
利息及び配当金の受取額	12,844	14,422	20,282
利息の支払額	△865	△669	△1,117
法人税等の支払額	△162,232	△106,464	△163,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△250,588	174,090	△132,333
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△4,666	△65,856	△5,271
投資有価証券の取得による支出	△321,811	△139,877	△323,533
投資有価証券の売却による収入	305,320	－	302,300
その他	90	21,374	747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,067	△184,359	△25,757
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	△245	－	△245
自己株式の売却による収入	－	149	－
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,801	△2,969	△3,762
配当金の支払額	△57,950	△57,942	△57,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,997	△60,761	△61,958
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－	－
Ⅴ　現金及び現金同等物の減少額	△332,652	△71,029	△220,049
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	685,980	465,930	685,980
Ⅶ　現金及び現金同等物の期末残高	353,327	394,901	465,930